

公募推薦入試

- 多様な学生の受け入れを促すために、複数のエントリー方法を設定しています。
- エントリースタイル
- ①一般推薦型 ②グローバル志向型(TAP等参加) ③レラティブ型
- 複数学部・学科への併願はできません。

試験日	学部	学科	募集人員	概要																				
11月23日(土)	理工学部	機械工学科	10※1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>エントリー方法</th> <th>趣旨</th> <th>主な出願条件</th> <th>専願併願</th> <th>現浪</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①一般推薦型</td> <td>高等学校を指定せず、一定水準の学力を有した生徒を、学校推薦によって受け入れる。</td> <td>全科目評定平均 指定科目評定値</td> <td>専願制</td> <td>現役のみ</td> </tr> <tr> <td>②グローバル志向型(TAP等参加)</td> <td>TAP・国際コースなどグローバル的なプログラムへの優先参加学生を受け入れる。</td> <td>英語外部試験基準 (英検2級以上※2)</td> <td>他大学との併願可</td> <td>既卒可(1年以内)</td> </tr> <tr> <td>③レラティブ型</td> <td>二親等内の親族(父母・祖父・兄弟姉妹)が本学(武蔵工業大学・東横学園女子短期大学を含む)を卒業または修了した者を対象として学生を受け入れる。</td> <td>指定科目基準</td> <td>専願制</td> <td>既卒可(1年以内)</td> </tr> </tbody> </table>	エントリー方法	趣旨	主な出願条件	専願併願	現浪	①一般推薦型	高等学校を指定せず、一定水準の学力を有した生徒を、学校推薦によって受け入れる。	全科目評定平均 指定科目評定値	専願制	現役のみ	②グローバル志向型(TAP等参加)	TAP・国際コースなどグローバル的なプログラムへの優先参加学生を受け入れる。	英語外部試験基準 (英検2級以上※2)	他大学との併願可	既卒可(1年以内)	③レラティブ型	二親等内の親族(父母・祖父・兄弟姉妹)が本学(武蔵工業大学・東横学園女子短期大学を含む)を卒業または修了した者を対象として学生を受け入れる。	指定科目基準	専願制	既卒可(1年以内)
		エントリー方法			趣旨	主な出願条件	専願併願	現浪																
		①一般推薦型			高等学校を指定せず、一定水準の学力を有した生徒を、学校推薦によって受け入れる。	全科目評定平均 指定科目評定値	専願制	現役のみ																
		②グローバル志向型(TAP等参加)			TAP・国際コースなどグローバル的なプログラムへの優先参加学生を受け入れる。	英語外部試験基準 (英検2級以上※2)	他大学との併願可	既卒可(1年以内)																
		③レラティブ型			二親等内の親族(父母・祖父・兄弟姉妹)が本学(武蔵工業大学・東横学園女子短期大学を含む)を卒業または修了した者を対象として学生を受け入れる。	指定科目基準	専願制	既卒可(1年以内)																
	機械システム工学科																							
	電気電子通信工学科																							
	医用工学科																							
	エネルギー・化学科																							
	原子力安全工学科	6※1	建築学																					
	建築学																							
	都市工学科																							
	情報科学科																							
	自然科学科																							
	情報科学科	3																						
知能情報工学科	3																							
環境学部	環境創生学科	5																						
環境経営システム学科	4																							
メディア情報学部	社会メディア学科	5																						
情報システム学科	5																							
都市生活学部	都市生活学科	12																						
人間科学部	児童学科	18																						

※1「グローバル志向型」の出願条件の「英検2級以上」は、本学の一般入試で「英語外部試験利用」としている各資格や試験で、本学が換算する「80点以上」に該当するものも可とする。
P.166「英語外部試験利用について」を参照してください。

※1 合格者について、特定の学科に偏る場合は調整することがあります。

●過去の小論文課題(800字程度60分)

学部	年度	小論文課題
工学部	2019	工学は社会に貢献するための学問です。あなたの関心がある工学分野で、2020年開催の東京オリンピック、パラリンピックにどのような貢献ができるか、具体的に説明してください。
	2018	工学は工学的な面から社会に貢献するための学問です。あなたの志望する工学分野で、社会に貢献できるような技術を開発したいと考えています。具体例を挙げて説明してください。
知能工学部	2019	人工知能については、AI「賢い」の中にも「人」を寄せようとする。若く人間の仕事を奪うため人を不幸にする、という2つの意見があります。あなたはどちらの意見に賛成しますか? また、それはなぜですか? 世の中で人工知能が活躍していますが、人工知能で興味のあること、知るところを述べなさい。
	2018	AIにあなたが見る未来の社会のために人工知能に期待するところを述べなさい。
環境学部	2019	SDGsの17の目標(1 貧困をなくす、2 飢餓をゼロに、3 すべての人に健康と福祉を、4 質の高い雇用を創出し、5 ジェンダー平等を実現しよう、6 安全な水とトイレを世界中に、7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、8 豊かにも持続可能な成長を、9 産業と技術革新の躍進につなげる、10 人や国の平等をなくさない、11 住み続けられるまちづくりを、12 資源の循環を、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさを守ろう、16 平和と公正をすべての人に、17 パートナリシップを促進しよう)のうち3つを選び、その実現のためにあなたが実践できる課題や内容を、それぞれの目標に関連付けて述べなさい。
	2018	実施せず
メディア情報学部	2019	近い将来、人工知能やロボットが人間の代わりに仕事をしていくとされています。人工知能やロボットによって欲しい仕事は1つまたは2つ挙げ、あなたが本学部で学びたい科目との関係、もしくは将来にどんな仕事との関係を描いてください。現代社会に生きる上で、誰もが学んでおくべきだと思うメディア・情報についてのリテラシーの内容を挙げ、理由を述べてください。
	2018	現在、日本の人口減少が深刻で、名古屋、関西の3大都市圏に集中しているといわれています。こうした大都市圏への集中に対する「まちづくり」の上でのメリット、デメリットについて述べなさい。またこれらに対して今後、地方都市はどうなっていくと考えますか。あなたの考えを述べなさい。
都市生活学部	2019	現在、全国で空き家が増加しています。こうした空き家への対策はどのようにしたいですか。またそうした空き家対策を行うことにより、地域や都市を活性化するにはどうしたいかと考えますか。自分の住む場所や関心ある地域などを対象にしながら、具体的に、あなたが考える都市における空き家対策について、述べなさい。
	2018	なぜ、今の日本で子育て支援の充実が必要とされているのでしょうか。あなたの考えを述べなさい。
人間科学部	2018	環境破壊は子どもにどのような影響を及ぼすと思いますか。あなたの考えを述べなさい。

●2019年度入学試験の結果

学部	学科	A 募集人員	B 志願者数				C 受験者数	D 合格者数	E(C/D) 実質倍率
			B	C	D	E			
工学部	機械工学科	25	3(0)	3(0)	2(0)	1(0)	1.5		
	機械システム工学科		2(0)	2(0)	1(0)	2.0			
	電気電子通信工学科		1(0)	1(0)	1(0)	1.0			
	医用工学科		1(0)	1(0)	1(0)	1.0			
	エネルギー・化学科		1(1)	1(1)	1(1)	1.0			
	原子力安全工学科		0(0)	0(0)	0(0)	—			
	建築学		10(7)	10(7)	4(3)	2.5			
知能工学部	都市工学科	25	3(0)	3(0)	1(0)	3.0			
	情報科学科		26	21(8)	21(8)	11(4)	1.9		
	知能情報工学科		6	4(1)	4(1)	1(0)	4.0		
	知能情報工学科		5	5(3)	5(3)	2(2)	2.5		
	自然科学科		4	2(0)	2(0)	2(0)	1.0		
環境学部	環境創生学科	15	15	11(4)	11(4)	5(2)	2.2		
	環境経営システム学科		1	1(0)	1(0)	1(0)	1.0		
	環境経営システム学科		4	3(1)	3(1)	3(1)	1.0		
	環境学部 計		9	4(1)	4(1)	4(1)	1.0		
メディア情報学部	社会メディア学科	10	5	8(4)	8(4)	5(4)	1.6		
	情報システム学科		5	11(2)	11(2)	5(0)	2.2		
	メディア情報学部 計		10	19(6)	19(6)	10(4)	1.9		
都市生活学部	都市生活学科	12	20(9)	20(9)	16(8)	1.3			
人間科学部	児童学科	18	30(27)	29(26)	19(17)	1.5			
総計		89	105(55)	104(54)	65(36)	1.6			

()内は女子内数

出願期間	試験日	試験場	合格発表	入学手続締切日
【インターネット受付のみ】 10月30日(水)~ 11月7日(木) (21:30まで)	11月23日(土)	(理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部) 世田谷キャンパス (環境学部・メディア情報学部) 横浜キャンパス (都市生活学部・人間科学部) 等々力キャンパス	12月5日(木)	12月12日(木)

●エントリー方法ごとの被推薦者の条件

エントリー方法	出願要件	主な出願条件
①一般推薦型	1. 高等学校もしくは中等教育学校を2020年3月に卒業見込みの者で、本学を第1志望とする者。 (他大学での公募推薦等との併願が可能だが、合格した場合は本学に入学することを前提とする) 2. 高等学校もしくは中等教育学校の学業成績において、各学科が定める条件(下表参照)を満たす者。	①全科目評定平均 ②指定科目評定値
②グローバル志向型(TAP等参加)	1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業して1年以内の者および2020年3月に卒業見込みの者。 2. 高等学校もしくは中等教育学校の学業成績において、各学科が定める条件(下表参照)を満たす者。	○英語外部試験基準 (英検2級以上*)
③レラティブ型	1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業して1年以内の者および2020年3月に卒業見込みの者で、本学を第1志望とする者。 (他大学での公募推薦等との併願が可能だが、合格した場合は本学に入学することを前提とする) 2. 二親等内の親族(父母・祖父・兄弟姉妹)が本学(武蔵工業大学・東横学園女子短期大学を含む)を卒業、または修了した者。 3. 高等学校もしくは中等教育学校の学業成績において、各学科が定める条件(下表参照)を満たす者。	○指定科目基準

※「グローバル志向型」の出願条件の「英検2級以上」は、本学の一般入試で「英語外部試験利用」としている各資格や試験で、本学が換算する「80点以上」に該当するものも可とする。
P.166「英語外部試験利用について」を参照してください。

●成績基準と選考方法

学部	学科	エントリー方法			選考方法
		①一般推薦型	②グローバル志向型	③レラティブ型	
理工学部	機械工学科	全平3.7+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	(1)調査書 (2)小論文 (3)グループディスカッション
	機械システム工学科	全平3.6+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	
	電気電子通信工学科	全平3.6+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	
	医用工学科	全平3.5+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	
	エネルギー・化学科	全平3.5+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	
建築都市デザイン学部	原子力安全工学科	全平3.5+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	(1)調査書 (2)小論文 (3)面接
	自然科学科	全平3.5+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	
	建築学	全平3.9+数理と0.4	英検2級以上*	数理とも3.8	
情報工学部	都市工学科	全平3.5+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	(1)調査書 (2)小論文 (3)面接(口頭試問を含む)
	情報科学科	全平3.6+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	
環境学部	知能情報工学科	全平3.6+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	(1)調査書 (2)小論文 (3)面接
	環境創生学科	全平3.5+数理と0.8	英検2級以上*	数理とも3.8	
メディア情報学部	環境経営システム学科	全平3.5	英検2級以上*	英語 3.8	(1)調査書 (2)小論文 (3)面接
	社会メディア学科	全平3.5	英検2級以上*	英語 3.8	
都市生活学部	情報システム学科	全平3.7 or 全平3.5+数3.8	英検2級以上*	数学 3.8	(1)調査書 (2)小論文 (3)面接
	都市生活学科	全平3.5	英検2級以上*	英語 3.8	
人間科学部	児童学科	全平3.5	英検2級以上*	英国とも3.4	(1)調査書 (2)小論文 (3)面接(口頭試問を含む)

※「グローバル志向型」の出願条件の「英検2級以上」は、本学の一般入試で「英語外部試験利用」としている各資格や試験で、本学が換算する「80点以上」に該当するものも可とする。
P.166「英語外部試験利用について」を参照してください。

●②グローバル志向型(TAP等参加)エントリー者の入学後の対応

本学では、TAP(東京都市大学オーストラリアプログラム)^{※1}をはじめとした留学プログラムがありますが、それぞれ参加者数に人数制限があります。また、学科によっては、国際コース^{※2}などのグローバル志向型プログラムが設定されている場合があります。このエントリー方法で入学した学生は、こうしたプログラムへ参加することを原則として、人数枠に対して優先的に受け付けます。なお、各プログラムには参加条件(準備プログラムの出席状況など)が設定されている場合があり、これらを満たすことを求めます。

- ※1 東京都市大学オーストラリアプログラムの例
全学部を対象にしたプログラムですが、学部ごとの人数設定があり、2020年度入学者については、理工学部140名・建築都市デザイン学部40名・情報工学部70名・環境学部60名・メディア情報学部47名・都市生活学部90名・人間科学部4名を予定しています。渡航時期は学部によって異なります。
- ※2 情報工学部の例
情報工学部では各学科に「国際コース」が設置されており、このエントリー方法で入学した学生は全員「国際コース」に所属し、TAP等の海外研修プログラムに参加することになります。